

| | |
|------------|------|
| ホームページへの掲載 | |
| 2月25日 | 掲載予定 |

岐阜県立東濃実業高等学校

学 校 長 亀山 芳久

学校住所 可児郡御嵩町伏見891

電話 0574-67-0504

- 1 会議の名称 平成22年度岐阜県立東濃実業高等学校 学校評議員会 (第2回)
- 2 会議の構成 評議員 野中三津夫 元本校PTA会長 (地域住民代表)
- 神田 久嗣 (株)加藤製作所 (企業関係)
- 西田由美子 (株)豊和機工 (地域住民代表)
- 伊藤 和子 国際ソロプチミスト可児会員 (地域住民代表)
- 奥村千恵子 御嵩町青少年育成推進委員 (地域住民代表)

| | | |
|-----|-------|--------------|
| 学校側 | 亀山 芳久 | 校長 |
| | 谷貝 眞 | 教頭 (司会) |
| | 花田 耕司 | 教頭 (記録) |
| | 宮西 武彦 | 事務長 |
| | 水野 圭三 | 教諭 (教務主任) |
| | 渡辺 俊樹 | 教諭 (生徒指導主事) |
| | 渡辺 克人 | 教諭 (進路指導主事) |
| | 相川 長徳 | 教諭 (商業科主任) |
| | 林 智子 | 教諭 (生活文化科主任) |

- 3 会議の目的 学校運営等について、地域住民や企業関係者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成23年 1月 18日 (火) 午後1時30分 ~ 午後3時
委員4名と学校側9人が出席

5 会議の概要

| | | |
|---|-------------------|-------------|
| 1 | 学校長挨拶 | |
| 2 | 授業参観 | 13:35～14:00 |
| 3 | 1年間を振り返って（成果、課題等） | 14:00～14:30 |
| | ①教務部 | |
| | ②生徒指導部 | |
| | ③進路指導部 | |
| | ④商業科 | |
| | ⑤生活文化科 | |
| 4 | 意見交換 | 14:30～15:00 |

意見 1 商業科の課題研究発表会に参加させて頂きましたが、生徒のプレゼン技術の質の高さに驚かされました。また、福祉類型の生徒さんの手話劇には感激しました。これまでは生活文化科はファッションショーがメインだと思っていましたが、音楽に合わせて一糸乱れず大勢の生徒達が一斉に行う手話劇は本当に感動しました。手話はコミュニケーション手段の一つだと思っていましたが、あの劇では手話はアートだと感じました。

意見 2 吹奏楽の定期演奏会は毎年楽しみにさせて頂いています。毎回新しい感動を覚えます。生活文化の発表会では、あんなに大勢の人々の前で堂々と話せる高校生を頼もしく思いました。先生方に影でしっかり支えていただけているのだと思います。

意見 3 制服をきちんと着ている学校の生徒はやはり中身もきちんとしていると感じました。人と笑顔で接することが出来、コミュニケーションがしっかりとれる生徒を多く育てて欲しいと思います。

意見 4 今は大学や専門学校に進学してもなかなか就職先が見つからない時代です。保護者の方々の中には、東濃実業高校へ入ればしっかり就職の面倒が見てもらえると期待してみえる方も多いと思います。しかし、入学後、保護者の最初の思いとは異なり、進学に切り替える生徒も多く存在しています。本校は実業高校です。ここで学んだ専門知識を武器に就職する事をもっと大切に考えても良いのではと思います。

意見 5 この頃の企業では外国籍の従業員が珍しくない。英語にたじろがない従業員が欲しい。

6 会議のまとめ

本校の進路の原点は就職です。就職に向けての進路指導は実業高校として非常に重要で、丁寧で手厚い指導を心掛けています。事務関係の求人が大卒に移行している現状は厳しいものがありますが、本校の約3割の就職希望生徒のほぼ100%の就職が決定しています。また、英語、特に英会話は現代の様々なビジネス活動において必要不可欠な要素です。本校でも専門高校として社会に役立つ人間づくりに幅広く取り組んでいきたいと思えます。